



道祖神に祈る

圃文化課 ☎22-1187 FAX 22-1242

疫病や悪霊から人々を守るために祀られた「塞の神」

道祖神

道祖神は、名前のとおり、道ばたの神様です。

道路が交差するところや集落の境などにあり、外からくる疫病や悪霊から人々を守るために、^{まつ}祀られています。

富士宮市でも、江戸時代から、^{ほうそう}疱瘡(天然痘)を軽くする呪いや^{まじな}コレラの終息を願い、^{えきびょうぼうざい}疫病防塞の神として造られてきました。

今でも、疫病や災いの侵入を防ぐ「^{さえ}塞の神」、旅の無事や地域の交通安全を見守る「^{ほしじょう}道の神」、豊穰や夫婦円満、子孫繁栄、子どもを守る「^{さい}幸の神」など、身近な守り神として信仰されています。

道祖神は、「雨を降らしてください」「病気を治してください」など、人々の日々の悩みを聴き、心の迷いを救ってくれる精神的な支えとなっています。

道祖神の祭り「どんど焼き」



▲マユダマとミカンが供えられた道祖神(粟倉)

小正月である1月14日頃、市内各地でどんど焼きが行われています。

どんど焼きが、道祖神の前で行われたり、その日に供え物がされたりすることからも、どんど焼きは道祖神祭りとしてされています。

かつては、道祖神を清め、力を回復させる願いを込めて、どんど焼きの神聖な火の中に道祖神を投げ入れていた地域があり、一部では今でも続いています。

道祖神信仰が盛んな富士宮市

富士宮市は、道祖神が398基もあり、道祖神信仰が盛んな地域です。

道祖神は、市内各地に点在しています。

しかし、富士川の西側にある内房地域には、道祖神の存在が確認できません。静岡県では、富士川を境に道祖神の分布に違いがあるようです。

市内の地域ごとの道祖神数 (基)

上井出	13	富士根	84
白糸	16	稲子	3
上野	57	柚野	27
北山	63	芝富	26
富丘	51	内房	0
大宮	58	合計	398



▲右側の道祖神が市内最古の道祖神(山宮・新屋敷に元禄2年(1689年)に造立)

道祖神には、
さまざまな彫刻が
施されています

単体道祖神

1人の神様が彫られているもの



▲小泉・叔母ヶ懐下/造立年不明

文字道祖神

文字が彫られているもの



▲東町/造立1820年

自然石道祖神

自然の石のままのもの



▲上井出・上宿/造立年不明

題目道祖神

経が彫られているもの



▲淀師・大谷戸/造立1772年

双体道祖神

男女2人の神様が彫られているもの

①合掌像

胸の前で合掌する像



▲原・下原/造立1794年

②握手像

手を握り合う像



▲沼久保・水沼上/造立1799年

③祝言像

酒器を持つ像



▲黒田・中村東組/造立1786年

④抱擁像

抱擁する像



▲精進川・山本/造立1781年

⑤持物像

笏や宝珠を持った像



▲山宮・中沢/造立1837年

道祖神マップで市内を巡ろう!

—近くにある道祖神を見つけよう—



▲道祖神マップは、6階文化課で配布しています。

今できること 今だからできること を楽しもう!

祈りを捧げる すてきじかん。

近くの道祖神を巡りながら、
少しずつ日常を取り戻そう

こちらで、動画を見ることができます→



疫病、飢饉、噴火など様々な苦難を乗り越えた わたしたちの祖先に習い、

今、ともに祈ろう

わたしたちの 日常を取り戻せますように